

「平佐西小学校の平佐焼活動の取組」

1 学校名

薩摩川内市立平佐西小学校

2 学年・人数

小学6年生（計149人）

3 日時・場所

(1) 活動の日時・場所

平成31年1月～2月 平佐西小学校図工室

(2) 展示の日時・場所

平成31年3月22日（金） 平佐西小学校卒業式で展示（体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

平佐焼（ひらさやき）

(2) 由来

平佐焼の歴史は、安永5年（1776年）、今井儀右衛門が有田より陶工を招いて、出水の脇本に登釜を開いたことに始まる。その後、領主北郷久陣の指示のもと有田から陶工を呼び寄せ、平佐に小規模な備前式登釜を築き、天草から磁石を取り寄せて磁器生産を開始した。これが成功し、文化・文政（1804～29）の頃、北郷釜を築いて生産拡大を図り、多様な焼き物を生産し薩摩史上最大の規模を誇った。特に、青木宗十郎に伝えられたべっこう焼きは珍重されている。

5 保存会や地域との連携の具体

第6学年の3学期に、ふるさと・コミュニケーション科の中で「伝統工芸など、平佐焼の歴史や特徴を理解し、ふるさとを愛する心をもつ」というテーマのもと、卒業制作として毎年実施している。平成14年度に平佐西地区コミュニティ協議会の生涯学習教室の中に「平佐焼同好会」が発足し、それと同時に本校に平佐釜が設置された。それ以降、「平佐焼同好会」の会員の方々に協力をいただきながら、平佐焼の制作活動を行っている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と「平佐焼同好会」が協力しながら卒業制作を継承していくために、連絡を密に取っている。特に、デザイン・成形の作業については、打合せをしっかりと行い、多くの会員の方々に参加していただき、細かい指導に沿ってイメージしたデザインにつながるようにしている。今後も「平佐焼同好会」と連携を図りながら、平佐焼を伝承していける体制を継続していきたい。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



（歴史及び作成について説明していただく。）



（会員の方々と一緒に成形する。）



（会員の方々にアドバイスをいただく。）



（卒業式会場に展示する。）

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【6年生児童】

- 兄が作っていたので、自分も早く作りたと思っていました。大切にします。
- 基本的な作り方やコツだけでなく、平佐焼の歴史についても丁寧に教えていただきました。頑張った作品を卒業式の時に飾ることができるのでうれしいです。

【教職員】

- 毎年、ふるさと平佐の大切な伝統文化を知るとともに、平佐焼を継承しようと努力されている皆様の技術を学ぶことができ、児童はもちろん私たちも大変勉強になっています。平佐西小の伝統として平佐焼での卒業制作ができていることに、深く感謝しています。

【地域の方から】

- 毎年、卒業生に伝統と歴史ある平佐焼について仲間とともに伝えることができ、喜んでいます。大変貴重な取組だと思えます。児童とのコミュニケーションを楽しんでいます。
- できあがった作品を満面の笑みで眺める児童の様子を見るのが、毎年の楽しみになっています。今後の意欲にもつながっています。